



アドビ システムズ 株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビ、MAX 2014 でモバイルでのクリエイティビティを発表

Creative Cloud の最新リリースによって、
新しいクリエイティブプロファイルによる新モバイルアプリ群と
強化された CC デスクトップツールのシームレスな連携を実現

※当資料は、2014年10月6日に弊社米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳です。

【2014 年10 月7 日】

米国カリフォルニア州ロサンゼルス発（2014年10月6日）世界をリードするクリエイティビティカンファレンスであるAdobe MAX 2014において、Adobe（Nasdaq：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下 アドビ）は本日、デスクトップとモバイルデバイスにまたがってクリエイターが作業を行う全く新しいワークフローとなるCreative Cloudのマイルストーンリリースの提供開始を発表しました。今回のメジャーリリースには新しいモバイルアプリ群と、連携する13の主要なCCデスクトップツールの大幅な機能アップデートが含まれます。さらに、Photoshop CCとIllustrator CCの最新バージョンには、Microsoft Windows 8およびSurface Pro 3のタッチサポートに関する飛躍的な進化が含まれます。今回のリリースの中心となるのは、CCデスクトップツールと9つの新しいモバイルアプリを連携させることでPhotoshop、Lightroom、Illustrator、Premiereの機能をモバイルデバイスにまで拡張する最新のクリエイティブプロファイルです。

アドビは、Creative Cloudに連携するモバイルアプリを配信でき、デベロッパーによるサードパーティ製アプリのイノベーションの勢いを加速させるCreative SDKのパブリックベータも発表しました。さらに、世界中のクリエイターと優良ブランドや企業クライアントをつなぐ新しいサービスCreative Talent Searchも発表しました。Adobe MAX初日の基調講演では、これらのイノベーションをはじめとするデモを行います。このイベントのビデオはこちら(www.adobe.com/go/maxkeynote)よりご覧ください。

アドビのデジタルメディア担当シニアバイスプレジデントであるデイビッド ワドワーニ（David Wadhwani）は、次のように述べています。「イノベーションのペースはCreative Cloudと共に加速し続けています。本日は、PhotoshopやIllustratorなどのフラッグシップCCデスクトップツールと強力に連携し、モバイルデバイスをクリエイティブのメインストリームに導く新しいモバイルアプリ群を紹介しています。Creative Talent Searchなどの新サービスは、Creative Cloudが何百人ものメンバーに向けたますます強力なリソースへと進化していることを示しています。」

Creative Cloud上でメンバーのクリエイティブアイデンティティとなる最新のクリエイティブプロファイル

Creative Cloudの今回のリリースには、新しいクリエイティブプロファイルも含まれ、クリエイターは場所に関係なく各自の作品、制作に使用するアセット、貴重なフィードバックが得られるコミュニティにアクセスできます。指先の操作だけで、ファイル、写真、カラー、ブラシ、シェイプ、フォント、テキストスタイル、グラフィックスなどのアセットをいつでも利用できるようになります。この新しいクリエイティブプロファイルは、アプリからアプ

リ、デバイスからデバイスへと、クリエイターと共に移動するので、アセットは、クリエイターが必要とするときに正しいコンテキストで自動的に表示されます。

モバイルアプリが提供するCreative Cloudとの新しい連携

今回のリリースは、基本的なCreative Cloudデスクトップツールと、Photoshop、Illustrator、Premiere Pro、Lightroomの機能をモバイルデバイスにまで拡張する新モバイルアプリ群をシームレスに繋ぎ、全く新しいワークフローを実現します。主なラインナップは次の通りです。

- Photoshopファミリーの**Photoshop Sketch**（従来のAdobe Sketch）では、クリエイターは表現力に優れた新しい内蔵ブラシを使って描画を行い、Photoshop CCおよびIllustrator CCとワークフローを統合できます。**Photoshop Mixのアップデート**では、緻密なモバイル合成機能が拡張し、Photoshop CCだけでなく、新しいiPhoneバージョンで強化された統合も含まれています。新しい**Lightroom Mobile**アプリは、デスクトップとモバイルの統合ワークフローの上に構築されており、クライアント、友人、家族とオンラインで共有している写真からお気に入りを選択したり、コメントを残したりする機能や、Lightroomデスクトップと同期されるようになったiPhoneからのGPS情報などを提供します。
- Illustratorファミリーの**Illustrator Draw**（従来のAdobe Ideas）では、先進的で合理化されたインターフェースからお気に入りのベクトル描画ツールおよび機能にアクセスできます。また、Illustrator CCとの統合は忠実度が高く、Adobe InkおよびSlideのサポートが強化されています。精密描画アプリの**Illustrator Line**（従来のAdobe Line）は、正確な幾何学図形や遠近法を用いたパース図をiPadで作成する環境をクリエイターに提供します。また、今回のアップデートで、Illustrator CCにアートワークを送信し、Illustrator CC側でベクトルデータを編集できるようになりました。
- Premiereファミリーの新しい**Adobe Premiere Clip**アプリでは、iPhoneまたはiPad上でビデオショットを、簡単に共有できる編集済みビデオに簡単に変換できます。ビデオグラファーの志望者は、合成済みの作品をAdobe Premiere Pro CCに送信し、高度な編集や仕上げを施すことができます。

アドビは、デザインを作成し、それをクリエイティブワークフローに取り込むための新しいカテゴリとなる「キャプチャ」アプリも発表しました。

- **Adobe Brush CC**を使用することで、デザイナーはPhotoshop CC、Illustrator CC、Adobe Illustrator Sketchで使用するユニークなブラシをiPadまたはiPhone上で作成できます。どのような写真からでもブラシを作成できるので、クリエイターは、写実的、オーガニック、絵画風、グラフィックなどさまざまな種類の美しい高品質ブラシを素早く、かつ楽しくデザインできます。
- **Adobe Shape CC**は、アイデアが思い浮かんだらいつでもiPhoneまたはiPad上で形状を取り込んだり、作成するためのシンプル、ユニークかつ楽しい方法を提供します。椅子、ペット、手書きフォントなど、あらゆるものの高コントラスト写真をベクトルアートに変換でき、それをCreative Cloud Libraries経由でそのままIllustrator CCやAdobe Illustrator Lineで利用できます。
- **Adobe Color CC**（旧Adobe Kuler）を使用することで、クリエイターは色を取り込んでテーマとして保存できます。保存したテーマは、Illustrator CCやPhotoshop CCなどの別のアドビアプリケーションでそのまま利用できます。

これらのモバイルアプリはCreative Cloudのすべてのプランと連携するため、フリーランスから大企業のクリエイターまで、誰もがクリエイティブプロファイルによって繋がれたモバイルとデスクトップの深い統合ワークフローのすべてのメリットを活用できます。アドビは、Creative Cloudと連携するサードパーティ製モバイルアプリの配信を強化するCreative SDKのパブリックベータも発表しました。Adobe Creative SDKは、creativesdk.adobe.comで公開されています。

CCデスクトップツールの新機能

Creative Cloudの今回のリリースには、アドビのデスクトップアプリケーション向けの強力な新機能も含まれます。主な新機能には、主要デザインアプリケーション向けのWindows 8デバイスでのタッチサポート、Photoshop CC向けの新しい3Dプリント機能とMercury Graphics Engineのパフォーマンス強化、Illustrator CCの新しい曲線ツール、InDesign CCでのインタラクティブEPUBのサポート、Muse CCでのSVGとテキストの同期サポート、高精細4KおよびUltraHDビデオをPremiere Pro CCで表示するためのGPU最適化再生、After Effects CCでのHiDPIと新しい3Dのサポートなどがあります。メンバーのクリエイティブプロファイルによって、新しい強力なモバイルアプリやサービスにアクセスできるCCデスクトップツールとのシームレスな新しいワークフローが実現できます。ファイル共有、Behance、TypeKitなどのCreative Cloudサービスの成功をベースとして構築された、本日公開の主な新サービスは次のとおりです。

- **Creative Cloud マーケット**は、Creative Cloudメンバーが自由にアクセスできる高品質なロイヤリティフリーの素材集です。プロフェッショナルなクリエイターによって作成されたユーザーインターフェース、パターン、アイコン、ブラシ、ベクトル形状など、何千ものファイルにアクセスして利用することで、デスクトップとモバイルにまたがるプロジェクトを迅速化できます。
- **Creative Cloud ライブラリ**は、強力なアセット管理サービスです。クリエイターは、Creative Cloudのデスクトップ、モバイルアプリ、サービスからカラー、ブラシ、テキストスタイル、ベクトル画像に簡単にアクセスしたり、作成することができます。Creative Cloud ライブラリは、Photoshop CCやIllustrator CCなどのデスクトップツールと相互にアクセスすることができ、コンパニオンモバイルアプリにもアクセスできます。
- **Creative Cloud Extract**は、WebデザイナーとデベロッパーのためにPhotoshop CCのComp-to-Codeワークフローを再定義するクラウドベースのサービスです。デザイナーとデベロッパーは、不可欠なデザイン情報（カラー、フォント、CSSなど）をPDFファイルから解放して共有し、モバイルとデスクトップのデザインをコーディングする際に利用できます。

クリエイターと雇用機会を結び付ける、刷新されたCreative Talent Search

アドビは本日、**Creative Talent Search**も発表しました。Talent Searchは、世界中のクリエイターに優良ブランドや企業からの雇用機会を紹介します。例えば、マネージャーの採用にCreative Talent Searchを利用すれば、Photoshopのエキスパート、特定地域に居住するクリエイター、自動車設計の経験者など、仕事に適した人材を高度な検索ツールを使ってこれまで以上に簡単に見つけることができます。候補人材を推薦するカスタムアルゴリズムが賢くなるほど、より多くのリクルーターがシステムを利用するようになります。また、パブリックポスティングは、Behance上の数百万人のクリエイターに雇用機会を提供します。詳細については、(<https://www.behance.net/talentsearch>)をご覧ください。

価格と提供予定

本日のCreative Cloudのアップデートは、本日中にCreative Cloudメンバーに公開されます。これはメンバーシップの一部であり、追加費用はかかりません。新規およびアップデートされたモバイルアプリは、誰もが自由に利用できます。詳細は、本日中に(<http://www.adobe.com/jp/creativecloud/catalog/mobile.html>)で公開されます。CS3以降をお持ちのユーザーは特別価格でCreative Cloudをご利用いただけます。個人、学生、写真家、グループ、教育機関、政府機関、エンタープライズ向けの各メンバーシッププランが用意されています。プランの詳細については、(<https://www.adobe.com/jp/creativecloud.html>)をご覧ください。

アドビについて

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。
アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[Webサイト](#)に掲載されています。

Adobe, the Adobe logo, Creative Cloud, Illustrator, Photoshop and Premiere are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2014 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.